

中小企業

中小企業組合専門情報誌

あおもり

- ・令和2年度官公需要望
- ・新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者の皆様へ

2020
12
No.962



平川市・農家蔵ライトアップ



創業・連携のネットワーク・コーディネーター
青森県中小企業団体中央会 <http://jongara.net/>



—(組合訪問シリーズ)—

組合と 共同事業

「地域との連携、地域への還元を目指して」

協同組合八戸中央建設業協会



若宮 藤男 理事長

今年で組合設立20周年を迎える協同組合八戸中央建設業協会。共同受注の他、地域貢献事業として、植樹や家具転倒防止金具取付作業等のボランティア活動を地域住民に対して行っており、東日本大震災の際には支障物の撤去や義援金を寄附する等、地域貢献に尽力している組合です。今回は、地域と深い結びつきがある、当組合の若宮藤男理事長にお話を伺いました。

■組合の近況と八戸市とのつながりについて

組合の近況について伺うと、「平成30年より、八戸市から道路等包括管理業務を受託し、市道の修繕及び街路樹剪定等の管理に加え、倒木処理、道路陥没等の緊急時にも対応しています」とのこと。また、八戸市とのつながりについて伺うと「平成14年に新幹線駅舎整備のために寄附したことから始まっています。その後は平成20年に『災害時における支援協力に関する協定』を締結し、平成23年3月に発生した東日本大震災後には、支障物撤去業務を八戸市から委託され、会員が一致協力し作業にあたり、その後は義援金として50万円を八戸市へ寄附しました。同年9月には緊急災害時用の土嚢袋を会員へ配備し、令和元年には全会員へ新たに土嚢袋配備と

連絡網強化を行い、緊急災害時に迅速に対応できるようにしています。また、今年は当組合の設立20周年を迎え、式典や記念植樹も計画しておりましたが、新型コロナウイルスの影響を鑑み中止とし、その予算を新型コロナウイルス感染拡大防止に役立てていただきたく、八戸市へ50万円の寄附を行いました」と語っていただきました。



▲八戸市道路等包括管理業務の様子



▲八戸市に50万円寄附

■次代の人材育成について

後継者問題について伺うと、「組合員の次代を担う人材の育成に注力しております。会員から要望のあった刈払機取扱作業安全衛生教育や職長・安全衛生責任者教育、労働安全衛生規則等の制度改正によって追加で履修する必要がある内容等について、特別教育を行っております。その他、安全意識を高めるために毎年11月頃に現場パトロールの実施や、労働基準監督署長の安全講話の受講を行っており、労働災害防止にも注力しております。また、青年部を中心とした公園等での草刈り作業



▲教育情報事業の様子



▲防災訓練にも積極的に参加



▲家具転倒防止金具取付ボランティア

や、枝払い等をボランティアとして行うなど、組織運営の経験を積んでいる他、次世代を担う若い組合員には役員として組合運営に参加してもらい経験を積ませるなどしているため、スムーズに世代交代ができればよいと考えております」と、組合の将来に万全を期す心構えを語っていただきました。
(拓)

組合事務所 〒039-1166
八戸市根城四丁目20番地30
電話 0178-41-2333
設立年月日 平成12年12月7日
組合員数 64名
出資金 3,700千円
代表理事 若宮 藤男